

第6回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第6回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議				
日時	令和4年12月9日(金)午後1時30分～午後4時10分				
場所	橋本市教育文化会館3階第3研修室				
出席者	委員 (敬称略)	堀内 秀雄	乾 幸八	前田 陽一郎	平家 利也
		田村 亜美	森田 知世子	玉井 勝代	小原 秀紀
		岸田 昌章	戸島 浩子	中谷 維志	東 美樹
		平田 敬二			
					【出席委員:13名】
欠席者	委員 (敬称略)	井潤 千恵子	佐藤 陽子	是枝 美海	今田 実
		上田 ひと美			
					【欠席委員:5名】
事務局		総合政策部長 土井 加奈子 政策企画課 地域振興係主査 上原 慎太郎			
次第	1. 開会 2. 報告 ①すこやか橋本まなびの日 ②提言案作成部会 ③職員研修検討部会 3. 議事 ①職員研修検討部会申し合わせ事項 ②職員協働研修内容 ③報告会形式 ④検証シート ⑤提言書 4. その他 5. 閉会				
資料	資料1 すこやか橋本まなびの日 アンケート集計結果 資料2 第3回提言案作成部会 会議メモ 資料3 第2回職員研修検討部会 会議メモ 資料4 職員研修検討部会申し合わせ事項(案) 資料5 職員協働研修内容(案) 資料6 報告会形式(案) 資料7 検証シート(案) 資料8 提言書内容(案)				

# 1.開会

土井総合政策部長挨拶

\*\*\*\*\*

# 2. 報告

## ①すこやか橋本まなびの日

### 【事務局説明】資料1

- ・資料を基に概要を説明。
- ・アンケート結果の訂正

訂正	正	誤
お住いの小学校区 回答者数	438	144
条例認知度 回答者数	469	146

### 【委員報告】

- ・ガチャポンの数、記載用の机の数、動線、はぐくむサポーターの加入案内などの前年度からの課題については、概ね解消することができた。
- ・今年度は来場者の大幅な増加により、はぐくむの木にはぐくむの実を貼るスペースがなくなってしまった。家庭教育支援チームヘスティアから模造紙をもらうことで乗り切ったが、来年は子供と大人で実を貼る木を分けるなどの工夫が必要。
- ・今年は9人でブースを運営することができた。来年度は委員会 OB やはぐくむサポーターにお手伝いいただき、パネルの説明を行っていきたい。
- ・アンケート、クイズ、はぐくむの木など記載分量が多いとの意見もあり、改善の必要を感じた。
- ・たくさんの方が来てくれて、はぐくむサポーターの登録も行っていただけで、すごくうれしかったです。

### 【委員感想】

- ・模擬店等がなかった割に人が多く感じた。
- ・はぐくむサポーターの登録をお願いする際に、来場者の方と話してみると、皆まちおこしや市の現状に対して思いがあるように感じた。
- ・前年度と比べて1.7倍くらいになった。日中強い雨が降っていたことを考えるとかなりの方に来ていただいたと感じている。
- ・ゆったりと学ぶことができた。若い子供連れの方が多く来られているように感じた。

- ・前回はガチャガチャだけが楽しみという印象を受けたが、今回はクイズもあったため、ブースに参加することが楽しいという声も聞くことができた。
- ・今年も『毎年来ているよ』、『去年も来たよ』という方がいらっしまった。リピーターの方ができているのが嬉しかった。

**【委員意見】**

- ・アンケートから事務局にはどのような景色が見えるのか。  
→昨年度より家族で来られている方が多いように感じた。子供が協働について学ぶ機会があれば、その親が協働について知る機会にもなる。このようなきっかけを大事にしなが、来期も頑張っていければよいと感じている。
- ・情報を得る手段として、全体に占める SNS の割合が大きくなっている。HP、LINE、Facebook など個別ではなく、SNS 全体として集計しても良いのでは。
- ・情報共有グループの中で情報の発信方法はデジタルもアナログも大事にしていきたいとの意見が出た。

**②提言案作成部会**

**【事務局説明】資料2**

- ・議事で詳細説明を行うため事務局より簡単な報告

**【委員意見】**

特になし

**③職員研修検討部会**

**【事務局説明】資料3**

- ・議事で詳細説明を行うため事務局より簡単な報告
- ・議事録は会議内容をまとめたもの。その後、職員研修担当の職員課との協議や委員長への相談により内容変更を行っている。

**【委員意見】**

特になし

\*\*\*\*\*

### 3. 議事

**①職員研修検討部会申し合わせ事項**

**【事務局説明】資料4**

- ・申し合わせ事項の策定年月日は部会の設立が決定した第5回はぐくむ委員会開催日（令和4年9月6日）を記載。

#### 【結果】

原案通り承認。

#### ②職員協働研修内容

##### 【事務局説明】資料5

- ・職員研修検討部会では、市長からのお話し、グループワーク、シンポジウムを予定していたが、職員課との協議、課内での検討の結果、今回は市長からのお話し、グループワークの時間を保障するため、シンポジウムは見送ることとした。
- ・協働に関するアンケートは、研修を受けていない職員も対象に実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症により研修を中止とする場合がある。

##### 【委員意見】

- ・職場研修委員を中心に各所属40名はどのように抽出するのか。  
→職場研修委員が市役所内ほぼすべての所属に配置されているため、庁内のすべての課や室から1名ずつです。
- ・目的を明確にするために『協働の知識を深める、機運を高める』から『自治と協働のはぐくむ条例の知識を深める、機運を高める』に変更しては。  
→変更します。
- ・グループワークの人数は何人くらいを予定しているのか。  
→6～8名を予定している。
- ・研修を受けた職員が所属で内容を共有することになっているが、共有方法を統一しないとその後のアンケート結果に影響あるのではないか。政策企画課と職員課の協働で研修内容をまとめ、各所属での共有に生かせばよいのではないか。  
→研修内容を政策企画課でまとめて、職員へのフィードバックに使用する予定にしている。研修内容の共有方法については回覧が主になると考えている。  
→共有方法を回覧に限定すると、熱い思いがある職員が研修を伝えきれないと感じることになるので、研修内容の共有は方法を限定しないほうが良いのではないか。  
→研修内容の共有を行う旨依頼を行うが、方法については限定しない。
- ・去年の協働に関する職員アンケート調査の回答率が低かったため、アンケート回答率が上昇するように案内の再表示などを行ってはどうか。  
→政策企画課でリマインドを行う。
- ・研修を受けた職員に対するアンケートをきっちり行う必要があるのではないか。  
→実施する。

### 【結果】

- ・職員研修は2時間を予定し、市長からのお話し、グループワーク(6～8名)を行う。
- ・研修受講者には研修後に内容の共有を所属で行ってもらうが、方法の限定は行わない。
- ・研修内容のまとめを政策企画課で作成し、全職員へデータで配布する。
- ・研修後参加者に対して、アンケートを実施する。
- ・毎年実施している『協働に関する職員アンケート』も研修後に、全職員対象に行う。回答率の向上のため、政策企画課でリマインドを行う。
- ・実施日程は後日 SNS を活用して調整し、事務局より委員へ報告する。

### ③報告会形式

#### 【事務局説明】資料6

- ・教育文化会館3階第1研修室(以下『3-1』という。)の定員が60名から99名に緩和されたため、報告会の会場を3-1としたい。部会で出た候補は教育文化会館大ホール(定員300名)、4階第6展示室(189名)、3-1。
- ・名称が決定

未来に向けて！ 自分ができること、みんなのできること  
～ 市民と行政の協働で元気な橋本市へ！～

- ・パワーポイントのスライドは各グループ8枚。

#### 【委員意見】

- ・実施時間を13時30分から15時30分から30分延長してはどうか。  
→案内作成時は13時30分から16時00分の実施とする。
- ・ファシリテーターがはぐくむ委員なら、記録は職員など分担してはどうか。  
→担当は分担する。
- ・動画の HP 掲載については、慎重に行ったほうが良い。  
→秘書広報課と協議の上、検討する。

### 【結果】

- ・報告会は13時30分から16時00分とする。
- ・グループワークのファシリテーターと記録は、委員と職員で分担して担当する。
- ・受付は玉井委員、平田委員、会場設営(チーフ)は岸田委員。事務局職員も担当する。
- ・実施日程は後日 SNS を活用して調整し、事務局より委員へ報告する。
- ・会場は3-1(定員99名)。

#### ④検証シート

##### 【事務局説明】資料7

- ・資料を基に概要を説明。
- ・『委員会よりひとこと』は検証項目の調査結果から考えたことや、見通しなどを委員会の意見として記載する。グループごとに記載するかは未定。
- ・『評価』の欄を『その他』に変更し、特筆すべき事項があれば記載する。

##### 【委員意見】

- ・検証項目の調査は事務局で行うのか。  
→検証項目の調査は各グループで行っていただきたい。必要な資料の収集は事務局で行う。
- どのグループがどの項目を担当するのか割り振りを行っては。
- 情報共有グループ:条例の認知度(市民)、はぐくむ条例HPアクセス数  
市民参画グループ:はぐくむサポーター登録者数、公募委員比率、女性委員比率  
協働のまちづくりグループ:条例の認知度(職員)、地域運営組織立ち上げ件数
- ・『地域運営組織立ち上げ件数』とあるが、数値の0が続くのではないか。  
→第5回ははぐくむ委員会で検証項目は数値で算出できる具体的なもの、必要であれば現在数値が0となる項目でも採用を行うことを確認している。
- いつ地域運営組織第1号ができるのか。
- 地域運営組織の設立要件を決定する期限を2年延長した。これは設立の期限ではないため、これより早くなるか、遅くなるかはわからない。
- ・『地域運営組織立ち上げ件数』を項目として採用すると、しばらく0が続く可能性があるが市としては問題ないのか。  
→庁内で検討して、回答します。

#### ⑤提言書

##### 【事務局説明】資料8

- ・資料を基に概要を説明。
- ・第2期提言書の目次を追加している。
- ・グループで記載する箇所は基本的に3グループでA4の2ページ分。各グループから提出されたものを事務局でまとめ、調整する。
- ・最終の調整は提言案作成部会で調整を行う。
- ・グループ素案の締切りは23日だが、26日(月)から編集を行うので、最終25日の提出をお願いしたい。

#### 【委員意見】

- ・書き方の詳細を示されていないが第1期提言書と同じ書き方であると理解してよいのか。
- 前回通り、箇条書きで記載し、形式も同様に記載する。
- ・1ページ36行であれば、1グループ24行になると思うが、グループとグループの間に1行入るので、実質23行で考えればよいのか。
- 事務局記載部分からページを変えずにグループ記載部分が始まるため、そこまで考えなくても良い。グループ案を見てグループ間の調整を行う。

#### 【まとめ】

- ・事務局でグループ案を集約し素案を作成する。作成した素案を、グループで確認し、提言案作成部会で確認を行う。

\*\*\*\*\*

## 4. その他

### ○委員より

- ・はぐくむサポーターを募集するに当たって、はぐくむ委員が直接チラシを手渡して、説明を行ってはどうか。
- チラシを1人5枚程度持ち帰った。
- ・はぐくむサポーターは何名になったのか。
- まなびの日で20名増え、171名となった。
- ・SNSの一覧が市HPにあるので、周囲の人に紹介するのも良い。
- ・今日は傍聴人として、地域プロジェクトマネージャの片岡さんが来ていただいているが、他にも地域おこし協力隊の上林さんと英さんにもお会いしました。はぐくむ委員会に来ていただいて、いろいろと活躍いただきたい。

### ○事務局より

- ・第5回はぐくむ委員会での委員提案で、誘致企業へのはぐくむ条例の周知があった。企業誘致室との協議の結果、誘致企業へ条例パンフレットの配布を行うことになったので報告します。
- ・1月広報に第3期はぐくむ委員会市民委員募集の記事が掲載される。先輩委員からのメッセージとして、平田委員に原稿をお願いしています。ぜひ広報はしもと1月号をご覧ください。また、市民委員に良い方がおられたらご紹介ください。

○次回日程

- ・2月末の実施予定。
- ・SNS で調整を行う。

○その他

- ・提言案作成部会の日程を1月中で調整する。
- ・職員研修検討部会の実施については部会メンバーと相談を行ったうえで決定する。

\*\*\*\*\*

## 5. 閉会

乾副委員長挨拶

以上

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄

【会議録署名欄】

委員

玉井勝代

【会議録署名欄】

委員

東美樹